

団 体 名	手話サークルうさぎの会
事 業 名	みんなに優しい町になるために手話を学び広める事業
補 助 金 額	197,704円
現 場 確 認 日	平成27年7月29日(水)
出 席 委 員	吉見委員



事業の概要

神奈川県手話言語条例に鑑み、広く町民が手話とふれあう場を提供する。また、手話技術を高める場を提供し、町の人的資源となる手話通訳資格保有者を増やす一助を担う。



現場確認の内容

この日は「聞こえないってどういうこと」をテーマに、初めておこなうオープンサークルの風景を見学させていただきました。

一般町民の方や、施設関係者の方がこられており、耳の聞こえない方の体験や音の聞こえない世界の話聞き、手話の大切さを参加者の皆さんにつたえていました。

出席委員のコメント

- ・ 第1回目のオープンサークルは、初心者向けで簡単な手話やプロジェクターを使った説明などがわかりやすく、参加者とのジェスチャーゲームなどを取り入れて飽きさせない工夫が感心しました。
- ・ 聴覚障がい者の方も明るく、楽しく参加されていたのは好感がもてました。
- ・ 障がいを持つ方が、安心して豊かな生活がおくれる環境を目指して活動されているボランティアの皆様には頭が下がりますが、まだ多くの人々の理解や認識が足りないと思われまます。今後も地道な活動を通して輪を広げてもらいたく希望します。
- ・ 今後の活動で、手話通訳資格者を目指す方が増える事を期待しております。

団 体 名	二宮菊友会
事 業 名	菊苗を無料配布して”花と緑のまちづくり”に寄与する事業
補 助 金 額	44,000円
現 場 確 認 日	平成27年6月7日(日)
出 席 委 員	澁澤委員、松本委員



事業の概要

菊苗の無料配布事業は、花と緑の大切さと感心を高めるためにおこなっております。この事業は、より多くの方々に花作りの楽しさを通じて、生きる喜びや元気を取り戻し、少しでも心の豊かさを実感していただき、花と緑の豊かな住みよいまちづくりの一助になればと考えおこなっております。



現場確認の内容

この日は、駅前町民会館にて、菊苗無料配布会場の見学をさせていただきました。

菊苗の無料配布だけではなく、菊作りの講習会もあり、菊を育てる楽しさや、育てることにより町の中に花や緑が増え、町を綺麗にしましょうと参加者の皆さんにつたえていました。

講習会の後に菊苗無料配布を行ない、参加者は嬉しそうに帰られました。

出席委員のコメント

- ・多くの参加者がお見えで、この活動が町民に周知されている事が感じられました。
- ・講習会での説明で、育てる過程の写真等がなかったので、写真などがあると一層理解しやすいと思いました。
- ・大きな字で親切で、分かりやすい充実した冊子が用意され、冊子の中には相談員の連絡先も載っていて、電話相談や場合によっては会員が実地で指導するとのことで、配布後のケアもしっかりしていました。
- ・菊苗の販売コーナーに多くの町民の皆様が集っており。有料配布での抵抗感もあまり感じませんでした。
- ・毎年5月下旬からJRの「駅からハイキング」に多くの町民や観光客が訪れます。受付は観光協会でおこなっていますので、協力をいただき有料の菊苗を配布したらいかがでしょうか。

団 体 名	まちづくり工房「しお風」
事 業 名	ふれ愛観光を通じた「まちなか♥遊学文化」の基礎づくり事業
補 助 金 額	176,250円
現 場 確 認 日	平成27年11月22日（日）
出 席 委 員	菅澤委員



事業の概要

忙しさや効率の中で見過ごしているもの、地域の中で長く伝えてきたものをもう一度見直し、それらを地域の光（二宮の魅力＝地域ブランド）として輝かせるために、遊学ワークショップ、walkwalk 地域探検ツアー、未来に伝えたい写真館、walkwalk こどもふるさと探検隊、まちなか♥遊学文化ライブラリー開設準備、まちなか♥遊学文化未来塾開設でふれ愛観光を通じた「まちなか♥遊学文化」の基礎づくりを行います。



現場確認の内容

この日は walkwalk 地域探検ツアー「湘南の残したい資産、湘南ミカンのある暮らし」の見学をさせていただきました。

まちづくり工房「しお風」にて作成された資料や掲示パネルなどを使って、二宮の歴史や魅力をたくさんの方へ伝えていました。

参加者の方々は、とても興味深くお話を聞いていました。

出席委員のコメント

- ・野原落花生では試食をしながら楽しそうにお土産を購入していて、二宮の特産品紹介や町民の方と触れあえるよい機会だと思いました。（お休みの店舗があったのは残念でした。）
- ・東大果樹農園跡地では詳細な説明があり参加者は興味深く聞いていらっしゃいましたが、残念ながら内部を見ることができませんでした。
- ・現在町では「二宮の魅力を発見し発信する」ことを大事な取り組みと位置付けていますので、行政や商工会・観光協会などとの連携をより深めて、活動が広がっていくことを期待します。参加者のアンケートも参考になると思います。

団 体 名	二宮災害ボランティアネットワーク
事 業 名	災害に強いまちづくりを推進する事業の構築
補 助 金 額	300,000円
現 場 確 認 日	平成27年7月26日(日)
出 席 委 員	大河原委員、山口委員



事業の概要

二宮町を中心とした防災、減災の啓発活動をおこない、平時・災害時を問わず、自助・共助・公助の連係を促進する情報提供、講演会、研修、町内イベントを通じて人の繋がりを深め、地域コミュニティの防災力の向上をはかり、災害ボランティアセンターの立ち上げ時に必要な知識を持ち、センターを運営するノウハウを蓄積して人材の育成をはかる。また、自然災害の被害地への復興、復興支援をおこなう。



現場確認の内容

この日は防災講演会を見学させていただきました。

講演会では神奈川の大地の歴史の話を聞き、地震や火山のことについて学びました。

資料の最後に出てきた言葉ですが、「過去を調べ、現在に学び、地域で考え、将来に備える」近年、色々な災害がおきていますので、大切な言葉だと思います。

出席委員のコメント

- ・ 町民の防災意識を高める講演会に相応しい事業でした。
- ・ 興味深い話が多く、大変面白く、また勉強になる講演会でした。
- ・ 日曜日の昼下がりにも拘らず会場のラディアン、ミーティングルーム2をいっぱいにするほどの聴講者を集めての講演会は内容も充実しており、大いに意義があったと思います。
- ・ ほぼ満席の状態、防災に対する町民の関心の高さを感じました。
- ・ 講師の方の解説は解りやすく参考になるものだった。
- ・ 自然災害には、地域それぞれの固有性が有り、地域にあった防災が重要とのご説明を頂き、地域での防災活動の重要性を改めて認識を致しました。
- ・ 地震災害、火山噴火災害のメカニズムに関して、私たちの郷土を形造る大地の姿と生い立ち、周辺でこれまでに起きた地震、火山噴火についてのデータ、地形図、写真等を示しての内容は、大変説得力がありました。今後の防災活動推進の上で参考になることが多々含んでおりました。
- ・ もっと沢山の町民に聴かせたい講演会でした。
- ・ 参加者の年齢層が高めの印象を受けましたので、もと若い世代の参加も増やし、更に地域に密着した活動になることを期待いたします。